

共同声明：節水型乾田直播の安易な普及を控え、水田の多面的機能の維持を求める

農林水産省は、概算要求に戦略的農林水産研究推進事業として節水型乾田直播の推進を据えました。節水型乾田直播栽培では田植えが省略されるだけでなく、水田のように湛水せずに稲を育てます。労力のかかる田植えを省略でき、水の維持管理にも手間がかからないとして、労力を節約して大規模な米作りができるとしています。

しかし、この栽培方法を普及することは、すなわち水田の維持を放棄することです。水田とは連作障害を生まずに農薬・化学肥料に依存せず、持続的・安定的にコメを生産できる画期的な農法です。また、水田にはそれ以外にも、治水・防災機能、水源涵養・水質浄化機能、気候緩和機能、そして生物多様性を保全する機能など、多面的な役割があります。

【水田のメリット】

- ・ 水田では連作障害が抑制される。一方、乾田では湛水管理による抑制効果が働かないため連作障害が高頻度で発生する。
- ・ 水田は、水生昆虫や両生類、魚介類・甲殻類などの繁殖・成長の場であり、鳥類の採餌場でもある。
- ・ 生物多様性条約で採択された昆明・モントリオール世界生物多様性枠組では、生物多様性の有害な助成金・インセンティブを見直し、削減・改革することが重要なターゲットの1つである（目標18）。節水型乾田直播普及のために補助金を支給することは、この世界的な合意に反することとなる。
- ・ 水田の湛水からの蒸発とイネからの蒸散は冷却効果があり、ヒートアイランド対策としてのグリーンインフラとしての機能がある。
- ・ 水田には遊水池としての機能もあり、近年増加しているゲリラ豪雨などへの防災機能を有している。

節水型乾田直播の推進は、これらの多面的機能を破壊することです。

私たちは、安易な節水型乾田直播の推進に異議を唱えるとともに、農林水産省は水田の多面的機能の維持にこそ支援を向けるべきであると主張します。

[呼びかけ団体]

OK シードプロジェクト

NPO 法人 ラムサール・ネットワーク日本

NPO 法人 日本消費者連盟